

# さんようおのだ 議会だより

第24号



**2011 厚狭花火大会 (7月25日)**  
～水害を乗り越え夜空に願いを～

## もくじ

### 委員会レポート

- 総務文教常任委員会…… 2
- 民生福祉常任委員会…… 3
- 産業建設常任委員会…… 3
- 意見書…… 4

- 一般質問…… 5～12
- 豪雨災害対策調査特別委員会… 13
- 広報広聴委員会…… 14
- おいでませ山陽小野田  
企業誘致特別委員会… 14

# 総務文教

## 一般会計

### ■ 23年度補正予算（第4回） ■

#### 山陽消防署の建設場所決定

##### 【審査経過】

昨年12月議会で提案された建設予定地は、面積が2400㎡と狭く、前面道路の交通渋滞、多額の造成費用が必要等の問題点を指摘し、再考を促すため、測量費などを減額修正いたしました。議会では、現在地での建て替えも含め、他の候補地を視察するなど、閉会中にも委員会を開いて検討を重ねてきましたが、3月議会において、またしても同じ場所での議案が提案されたため、関連予算を再び減額修正していたものです。

この間、委員会は2度の現地視察など、閉会中の審査を含め、12回にわたり審査いたしました。

#### 場所をFDK社宅跡地に変更して提案

**委員** 今回場所を変更しての提案理由は、12月以来議会が指摘してきたことだ。前回提案は狭かったというなら、もともと何㎡必要だと考えていたのか。

**消防本部長** 最低、3000㎡以上はほしいと思っていた。今回提案の敷地は、約4600㎡で、そのうち約1000㎡がのり面だが約3600㎡の有効面積がある。

**委員** 建物建設にあたっては、将来のり面を造成して敷地の有効活用ができるように計画を立てるべきだがその考えはあるか。

**市長** その辺も考えて建物を配置する。

**委員** 敷地購入費用の積算根拠は。

**副市長** 3年前に旧山陽総合病院跡地売却の際、㎡当たり2万5300円の鑑定評価が出ている。それを参考に、地点修正、地価下落率0.877、のり面減額等を勘案して見積もっている。あらためて不動産鑑定を受ける予定だ。

**委員** 現消防署は、ハザードマップ内にあるとはいえ、厚狭川の改修が終わればクリアできる。現在地での建て替えは考えられないか、あらためて問う。

**市長** 石油備蓄基地等対策交付金は、ハザードマップ内に建設するというものでは再申請が難しい。また、現在地は総合事務所の複合施設建設を検討しており、10月に迫っている交付金変更申請期限には間に合わないと判断した。

（賛成多数）

## 条例

### ■ 転入促進条例の制定 ■

#### 転入促進条例は継続審査に

**委員** これによって転入が何件増え、経済波及効果はどうか。

**企画課長** 現在、新築が20件、中古住宅購入を合わせて約30件程度が市外からの転入と推計している。それが20件程度増えるのではないかと見込んでいる。また、新築住宅の場合、1軒当たり平均約3000万円ほどの経済効果を期待している。

**委員** 奨励金はどの程度支払われるのか。

**企画課長** 平均的な新築住宅の場合、5年間で約40万円程度だと試算している。

**委員** この制度だけでは人口増は難しい。流出に歯止めをかける施策との両面から定住促進を図るべきではないか。

**総合政策部長** 多様な考えがあることは承知しているが、一番即効性があると判断して提案した。定住策については今後、第2弾、第3弾を考えていきたい。

（賛成多数で継続審査）

## その他

#### 厚陽小中学校の建て替え&耐震化

**委員** 計画当初の段階では総事業費が20億円を超える話であった。結局いくらになったのか。

**教育総務課長** 約8億4000万円の見込みである。

**委員** 低入札であったために調査したということだが、施工に支障はないのか。

**監理室技監** 調査基準価格の2%内で落札しており、失格ではない。見積書を精査して、支障なしと判断した。

（全員賛成）



耐震化工事後の教室を見学



## 民生福祉

### 一般会計

#### ■ 23年度補正予算（第3回） ■

#### クーポン券で受診率向上となるか？

**健康増進課長** 今年度から大腸がん検診も実施。40歳から60歳までの5歳刻みの男女4324人が対象。受診率は25%を見込んでいる。当初は検査キットを郵送する事業だったが、クーポン券と検診手帳を配る方式に変わった。

**委員** クーポン券を配れば受診率が向上するかと考えているのか。

**健康増進課長** この方式は国から示されたものである。希望者には検査キットを郵送するようになっている。

**委員** 国の示す受診率の目標はどの程度か。

**健康増進課長** 国はあくまで50%を目標に掲げている。

**委員** 国が50%を目指せというのに、なぜ市は25%止まりなのか。

**健康増進課長** 現実の兼ね合いもあり、25%を目標に考えている。

**委員** 受診率を上げるための工夫が必要だ。当初予算で健康推進員の増員を決めており、個人情報うんぬんを抜きにして一定の役割を果たしていくべきだと思う。健康推進員等を活用することについて、部内で具体的な方策は検討されていないのか。

**成人保健係長** 健康推進員に毎年検診のPRチラシを持って回ってもらっている。また、商工会議所と提携して企業の実態を把握し、働き盛りの若い世代の方にも受けていただけるようPRすることで、受診率の向上に寄与できたらと考えている。

(全員賛成)



それ行け！がん検診

## 産業建設

### 一般会計

#### ■ 23年度補正予算（第3回） ■

#### 有帆緑地処分場えん堤かさ上げ

有帆緑地処分場は、公共工事による残土の受け入れのために造成されたものであるが、昨年の厚狭川水害から、厚狭川のしゅんせつをすることになり、しゅんせつ土を有帆処分場に持ってくるようになった。

**委員** 厚狭川のしゅんせつ土を処分場に受け入れるとのことだが、土質の検査はするのか。

**土木課技監** 県土木において分析をすることになっている。市でも定期的に水質検査を実施している。

(全員賛成)

### 条例

#### ■ 手数料徴収条例の一部を改正する条例 ■

#### 督促手数料は徴収しない

**下水道課長** 水道料金と下水道使用料の徴収一元化にあたり、督促状は一通で併せて表示可能となるが、水道料金は法律上、督促手数料が徴収できないために取り扱いを水道料金に統一する。

**委員** 督促手数料はどれくらい入っていたか。

**下水道課長** 約40万円である。

(全員賛成)

### その他

#### ■ 上関原発計画の再検討を求める請願書 ■

紹介議員を招き説明を受けた。説明内容は「1、原発の技術は本質的に未完成 2、安全神話の崩壊 上関原発をこれ以上進めてはならない。」とのこと。審議では「原発計画の中止を強く求めることが重要課題として受け止めたい。」「中止については抵抗がある。」「請願の趣旨を生かすべき。」などの意見が出され、委員会として「請願の趣旨を採択する。」という結論になった。本会議でも趣旨採択が承認された。その後、委員会で作成した。(次ページ参照)



# 上関原発計画の再検討を 求める請願は趣旨採択

議会として意見書を全会一致で採択し、国と県に提出しました。(一名棄権)

## 上関原子力発電所建設計画に関する意見書

3月11日に発生した東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所の事故により、国民に原子力発電の安全対策や体制に対する不安が広がってきています。

福島原発の事故は、日本の原発建設が「安全である」との前提で進められてきたため、事故が起きた時の初動の対処法が十分確立されていなかったことが、事態を一層深刻化させております。今回の事故のように、原子力発電所からひとたび大量の放射性物質が放出されれば、被害は深刻かつ広範囲で、将来にわたっても大きな影響を及ぼすことが考えられます。そのためにも、事故原因の徹底的な究明を行い、国民が安心できる安全対策と体制づくりを行うことが必要です。

当面は、早急に原子力発電設備の安全強化を図ることが最重要課題です。今後は原子力政策を見直し、長期的なエネルギー政策の策定により新エネルギーの導入・普及を推進することが必要です。

これらのことから、下記のことを要望します。

### 記

- 1 このたびの事故の原因が究明され安全性が確立されるまで、山口県で進められている上関原子力発電所建設計画を凍結し、今後の原子力発電所の新設及び増設計画を推進しないこと。
- 2 国に対し、国際基準や福島原発事故の教訓を踏まえて、新しい安全基準をつくり、その基準で現在の原子力発電所の総点検を行うことや事故が起きたときの対処法を確立するよう求めること。
- 3 国に対し、原子力依存の現状を見直し、自然エネルギーの活用を含めた長期的な新エネルギービジョンを早急に策定し取り組むよう求めること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成23年7月1日

山陽小野田市議会

## 重要港湾小野田港よみがえる

衛藤 弘光 議員

**議員** 県事業で港湾のしゅんせつ工事が始まり、事業費10億円のうち市も3億円の負担金を出す。①何年前にしゅんせつしているか。②しゅんせつ量はいくらか。③しゅんせつの深さは規定より深くできないか。④しゅんせつ泥に有害物質はないか。⑤しゅんせつで海水が濁るが漁業に影響はないか。

**産業建設部長** ①過去何年ごろしゅんせつしたかは不明であるが、近年土砂等が堆積し、2000トン級の船舶の航行が困難な状態になっているため、県にしゅんせつを強く要望した結果、②平成23年度と24年度の2カ年で約10万m<sup>3</sup>の土量のしゅんせつをする。③計画水深は対象船舶の満水喫水4.9mに0.6mの余裕水深を加え、大潮の時の低い低潮面(干潮時)を基準面として、それよりもマイナス5.5mとなる。④しゅんせつ土の土質は土壤汚染対策法等の法令に基づく検査も異常がなく、

⑤しゅんせつ工事で海水が濁るが、漁業補償も解決していると報告を受けている。

### 環境にやさしい ごみ処理施設に

**議員** 今年の3月18日に新ごみ処理施設建設計画検討委員会を立ち上げ1回目の委員会があったが、委員会の構成メンバーと事業計画費用と期間は。

**市民生活部長** 委員会は13人の構成で内訳は学識経験者が8名、公募による市民4名、関係機関の宇部健康福祉センターの職員1名の計13名である。コンサルタントはプロポーザル方式で契約金額は4340万円で、期間は平成24年3月25日までである。

**議員** 委員会を毎回傍聴しているが、委員の知識も高く熱心な取組

の思いが伝わってくる。検討されている新ごみ処理施設の建設費はいくらか。また、1日のごみ焼却量はいくらの計画か。

**市民生活部長** 総事業費は約54億1240万円で、建設費は52億6900万円、コンサルタントへの委託料が4340万円とごみ堆肥化施設事業費が1億円である。焼却能力は1日当たり90トン計画しているが、確定でなく委員会で審議中である。



しゅんせつ工事が始まる小野田港湾

## 新病院建設は安全な場所に！

河野 朋子 議員

### 2～3mの津波でも大丈夫？

**議員** 山陽小野田市の防災計画では、南海地震が起きた時には2～3mの津波が起こることがかなりの確率で想定されているが、病院の建設場所について津波の件は考慮されたのか。

**病院局事務部長** 現在の敷地は海拔1.4mなので、1m土地をかさ上げすると最高2.4m以上になる。基本的に3階以上に病棟を予定しているので、2～3mの津波であれば入院患者の安全が守れる。

### まずは入院患者の安全

**議員** 病院は健康でない人が利用する施設で、それを考えると不便ではないか。また、1階には重要な医療機器が配置されるが、水に漬かって病院としての機能を果たせな

くなるのではないか。

それ以上に、病院の周辺が冠水してしまったら、患者さんを受け入れることができなくなることが一番大きな問題だと思う。現に昨年の豪雨のときにも病院周辺は道路が冠水している。市民の緊急事態に、市民の安心、安全を守る拠点として病院の機能が果たせるのか不安だ。

**病院事業管理者** 災害も365日のうち363日は災害がない日で、平時に患者さんの利便性がないと大変なので、まずは入院患者さんの安全を守るということに主眼を置いている。ハザードマップも参考に慎重に対応していき、きちんと証明するつもりだ。

10年以内	10%程度
30年以内	50%程度
50年以内	80%程度

南海地震の発生確率  
(出典地震調査研究推進本部)

### 多くの人に参加できるように

**議員** 最近の対話の日や市政説明会は時間帯が平日の昼間で、これでは参加できる人が限られてしまう。積極的に情報を伝え市民の声を聞くという姿勢が以前よりも後退してきていないか。

**市民生活部長** 時間の設定については、基本的には夕方7時をめに考えていきたい。

**議員** 今後給食センターの問題が出てくると思うが、その場合保護者など関係者の意見を聞くような工夫があるのではないか。

**市長** 病院問題の市政説明会で病院局長と組んで回ったように教育長と一緒に回りたい。



## 一般質問に関して

平原 廉清 議員

**議員** 一般質問は、議員から提言・提案をし、議員自身の政策形成能力を発揮する貴重な時間だと思うが、答弁には、エビ天に例えると、衣(周辺のこと)が大きくてエビ(核心)は小さいことがある。また趣旨に合わないおどろきな回答の場合もあると思うがどうか。

**総務部長** 一般質問は、行政に対する批判、監視機能を保障するもので意義がある。執行部も、定例会後の協議で市行政運営に役立っている。

**市長** 大きい衣のことも注意の1つに加える。今後私の方できちんと指導する。

**議員** 簡潔でわかりやすい答弁を心がけてほしい。答弁書の質問議員への事前配付をしてはどうか。

**総務部長** 回答文書としては作成はしていない。内部の答弁資料として作成をし、市長と協議の後、答弁している。事前配付すると事前配付を受けない議員や傍聴の方は質問と答弁の内容を十分に理解できず、質

問議員と執行部だけの間の論議となる恐れがあり、回答文書の事前配付は、適切ではない。

**議員** 執行部や市長の「検討する」や「前向きに」とかの答弁についての扱いはどうか。

**市長** 市民からの要望等には、返事を出しているが、議員に対してだけしてないことに思い当たった。2カ月で区切りをつけ、議長へまとめて回答書を届けることでいかがか。よければ、この次の庁議に諮って皆の了解をとる。

### モニユメントの建立を

**議員** 厚狭川豪雨災害復旧・復興支援感謝のモニユメントの建立を提案する。新橋の欄干利用が最適と思うが。

**総務部長** 新橋の建設に合わせて、前向きに検討する。

**市長** 激甚災害特別事業は平成26年度完了。新橋完成が平成24年

度末。激特事業が完成して、もう厚狭の町は水に強い地域に変わったんだと、その暁にという思いでいる。



撤去された新橋付近

### 市民病院送迎バス新設を

**議員** 厚狭地区の福祉は後退している。埋め合わせとしてデマンド方式の送迎バスを新設しては。

**病院事業管理者** 市全体の公共交通体系の整備が重要だと思う。

## 協働のまちづくりと公民館

岩本 信子 議員

**議員** 各小学校校区にある公民館をどう考えるか。

**教育長** 現在、生涯学習の拠点や地域コミュニティ団体の活動拠点として、利用されている。平成20年度から地域密着型、地域主導型で地域の公民館運営協議会への委託方式を導入し、平成23年4月には津布田会館を除きすべて移行した。

**議員** これからの公民館の活用はどうか。

**教育長** 公民館の役割は、学んだ成果を地域に還元する知の循環型に変化している。お年寄りから子どもまで、だれでも出入りできる公民館で、地域住民が学ぶだけでなく、集い、つながる施設として、また福祉や防災の拠点施設として進化させることが、協働のまちづくりの実現には必要である。各館運営には特色ある動きが見え始めているが、導入時期の違い等による取組状況の差が見られる運営協議会の機能充実などを

行い、改善を図っていく。

**議員** 公民館での協働のまちづくりの推進をするのは、市長部局との連携が必要だがどうか。

**教育長** 福祉、防災など社会教育法の枠から広げるには、市長部局のほうが良いと考えている。社会教育面での指導は必要だが、全体の管理運営面での地域協働推進は扱える範囲ではない。市長部局、市長も含めて勉強会をしている。また社会教育委員会にも諮問。公民館運営審議会にも協議を投げかけている。

**副市長** これからの公民館のあり方等は、教育長から市長部局でとの提案があり、それについての会合を2回した。行革の一環として、企画課を中心に協議を継続していく。

**議員** 各地域の委託館方式で、活動に地域差がでてきていることはどうか。

**教育長** 地域の運営協議会での運営委託は、権限の移譲であり、地域

間の差は表裏であると考えるが、各地域の運営協議会役員やふるさと、自治会の方々の勉強会を設ける等計画している。

**議員** 若い職員を地域研修の場として配置することはどうか。

**教育長** 個人的には大賛成だが、市長部局人事の人材育成の枠の中であり、教育委員会でも協議し、実現できるよう努めたい。



利用者の多い厚狭公民館

## 一般質問はまず市長が答弁を！

下瀬 俊夫 議員

**議員** 施政方針や基本姿勢をただされた場合、市長がまず答弁に立つのは当然で、そのことが政策論議の活性化につながるのではないかと。

**市長** 6年前から参与が答弁し市長の補充答弁が慣例化している。県や他市のような答弁形式については関心があり、検討したい。

### 議会が活性化しつつある

**議員** 山陽消防署関連予算の修正等は議会活性化の証しであり、「二元代表制」の下でこのような議会こそ評価すべきではないのか。

**市長** 議会活性化は歓迎だが、市民に少々戸惑いもある。お互いの切磋琢磨は私としても歓迎したい。

### 「再任用」の人事では？

**議員** 今年の人事は「再任用」に転換したのか。

**市長** 病院局は人事を含めて独立の方向にあり、今回の人事も病院管理者が独自に行ったもの。教育委

員会の人事も特命事項に基づく1年限りの嘱託職員で、再任用ではない。

### 開かれた市政のはずでは？

**議員** 市議会での病院関係資料の開示請求に「請求権の濫用」との市長の態度は納得できない。

**市長** 公文書公開審査会の結論が近日中に出され、市民に公開される予定だ。しばらく待ってほしい。

### 便宜供与ではないのか？

**議員** 旧法務局跡地は当初の売却方針から無償貸与に変わったのは便宜供与ではないのか。

**副市長** 条例に基づいて無償貸与としたが、将来は適正価格で売却の方針だ。

### 市長答弁は釈明を

**議員** 3月議会でのわが党議員への感情的な市長答弁は看過できない。釈明を求めたい。

**市長** 私の答弁は行き過ぎがあ

り、失礼であったと反省している。謝罪したい。

### 埴生地区小中統合の協議は

**議員** 埴生、津布田小中統合問題について、地元意向優先の方針に変わりはないか。

**教育長** 地元協議では賛否両論があることは認識しているが、地元の意向を最大限に尊重して進めていく方針に変わりはない。



小中統合は地元合意で（津布田小）

## 水害対策の拡大改修へ

伊藤 武 議員

**議員** 水害対策・対応の進捗状況と大正川、桜川のしゅんせつはどうか。

**産業建設部長** 激甚災害指定が、昨年12月末に採択され、県は事業着手した。①厚狭川橋から夢広場付近の5.7kmしゅんせつ、②大正川排水機場ポンプ増設、③桜川拡幅。迫山堤防かさ上げ、東下津河川公園付近や杳山田、松ヶ瀬など、一部河床掘削実施。日化前と石鞆地区の護岸復旧中だ。鴨橋付近と桜川の改良計画は、測量調査設計中で、大正川排水機場ポンプ2基増設は発注され、25年度に3基が稼働。大正川、桜川のしゅんせつは現地を確認し、業者発注している。桜川の上流も5月25日に終わった。さらに、臨時交付金の活用でしゅんせつする。

### 病院建設場所の変更を

**議員** 津波対応で建設場所変更は、考えられないか。

**病院局事務部長** 東日本大震災を受け、再検討を行った。津波は、東南海地震で2～3mだ、敷地を1m程度かさ上げして約2.4mにし、入院患者の安全、病院機能を維持する。建築基準に沿った耐震化を図り、敷地の古洞対策を十分行う中で、現地建て替えていけると判断した。

**議員** 約8億円で医療器具整備する方針に変更はないのか。

**病院事業管理者** 医療器具の整備方針は、購入計画を策定し、ニーズに応えるが、性能が医療の資質確保、医師の充足という点に関連する。5～6億円の増額を希望しているが、具体化されてない。

### 命を守る通信網整備は

**議員** 3月議会で防災無線放送を提案し「地域情報化検討委員会で調査し検討する」は、どうなったか。

**総合政策部長** 検討委員会は、主要検討課題の山陽有線放送事業、ケーブルテレビの導入検討が終了し

たので、平成23年3月で解散した。

### 国保・保険証の改善を

**議員** 保険証のサイズ変更と世帯単位発行を個人ごとに発行できないか。

**健康福祉部長** 世帯に1枚で不便をかけている。個別に被保険証を出すケースは、市外転出の学生、旅行、出張、出稼ぎ、その他特別の理由で住所を離れる場合としている。



しゅんせつを終えた桜川上流



## 震災被害者とペット飼育にあたたかい支援を！

尾山 信義 議員

### 東日本大震災に関わる本市の対応

**議員** 被災者への対応（緊急避難・移住受け入れ等）について本市の基本的な考え方を問う。

**副市長** 被災者には生活に不自由がないよう、最大限の配慮をするということが山陽小野田市の基本となっている。3月25日、大震災総合窓口を設定し、県に対してもEメールアドレス、直通電話を届け出てこれまで延べ18人に対応した。

**議員** 被災者提供用の空き家募集についてどのような方策をとっているか。また市営住宅においてペット飼育可の領域を設定するなど運用改善は考えられないか。

**産業建設部長** 今回の東日本大震災の被災者が入居可能な空き家の提供者募集については募集情報を市広報4月1日号に掲載した。

また、空き家調査、空き家登録、入居希望者の紹介業務等については特定非営利活動法人にこれらの業務

を委託している。

市営住宅は公営住宅法及び市の条例に基づいて市が運営する住宅であり、山陽小野田市内の市営住宅においても、入居者に対し入居募集の際にペットの飼育は行わないようにしており、被災者にだけペットの飼育を特別に認めることは不公平であると考えている。

**議員** 空き家情報は、商売をしている人や自治会長とか、いろいろな役員に直接聞けばあると思う。ペットを抱えて大変な被災者も見ることができるようホームページに写真を掲載するなど情報発信をぜひしてほしい。



ペットも家族の一員

### 商業振興について

**議員** 地域の高齢者や買い物難民に商店街の方々の協力を得て、その商店街ごとにモデル地域を設定して、生活必需品を宅配して、買い物難民をつくらない。そして、そこに住宅の建設を多く求めて人口の定住化をさせるなどの施策を考えてほしい。

**産業建設部長** 市においても、食料品等の日常の買い物が困難な状況に置かれている市民の方がおられることは認識している。この買い物弱者対策は、市町村が民間事業者等と協力し取り組むべき課題であると考えている。

今後は、この中で生活者と生活インフラとの距離を縮める手法も模索しながら研究していきたい。

## 当市の明確なビジョンがない

伊藤 實 議員

**議員** 少子高齢化対策として若者定住策は重要な課題であることは再々指摘してきたが、現状は当市を将来どんなまちにするのか明確なビジョンがなく、場当たりのものである。さらに財源の裏付けとなる財政計画についても平成29年度までしか示されていない。お金がないからできないではなく、お金がなくてもすべき事業はしなければならない。事業の優先順位は大事である。合併特例債活用の限られた財源と時間の中で最大限の効果を上げて将来を担う若者の定住策を促進しなければならない。当然、行政と議会が一体となり市民の理解を得て進めなければならないが執行部の考えはどうか。

**総合政策部長** ヒアリングを通じて採択を行い、まちづくり市民会議を経て、施設の統廃合等の議論を行政改革プロジェクト会議で行い事業計画案を作成している。財政計画については平成23年3月に見直しを

したが、今後も増大する生活保護費は2%、国民健康保険、後期高齢者医療給付費は3%の上昇を考慮している。

### 若者の声を聞くべきではないか？

**議員** 若者定住について、若い世代にアンケートもしないで何を根拠に若者定住策をするのか。早急に若い世代の意見、要望を聞くべきではないか。

**市長** 約束を守っていなかったといわれる若者定住促進のアンケートは、2～3カ月以内に実施して次の議会前には結果を示したい。

### 財政計画を示せ

**議員** 国の高速道路、子ども手当などの政策は財源がないからと見直しができるが、箱物は一度建設すると簡単に見直しができない。だからこそ財政計画（資金繰り）を示さなければならないがどうか。

**市長** 合併後、財政計画ももたつた。資金繰りの見通しが立たないまま来た。一番上位に総合計画があり、見直しを3年おきにしている。さらに細かく1年ずつ見ている。それを裏付ける、財政的にそれを支えるものとして財政計画がある。資金繰りと言われる点は全く同感である。





## グループ制導入で行政機能アップを

小野 泰 議員

**議員** 現在、当市の組織は部・課・係で事務処理単位を階層的に定めている。現行組織にもメリットはあるものの、組織の硬直化・課や係の間に仕切りができ、セクト意識が強く働き、その結果、組織間の連絡調整及び仕事のむらや、繁閑の差がうまく調整できなかつたり、係の間に壁があるため人材を有効に活用できなかったり、組織間で仕事に重複や隙間が生じ、効率的な処理ができない場合が発生するというデメリットもある。

そこで、市民サービスの低下や職場の労働強化を生じさせることなく無駄を省いて市民満足度の高い行政サービスを行う必要がある。市民からも市の組織が分かりにくいなど各種不満の声を多く聞くが、組織を現在の行政管理型から行政経営型へ転換する必要があり、縦割り組織の弊害を可能な限り解消し、既存組織の枠にとらわれない機能重視の機構に改め、行政の総合力向上を図り、よ

り弾力的、機能的な組織運営を推進するため、グループ制導入を検討する必要があると考えるがどうか。

**総合政策部長** グループ制も一つの手法として認識しつつ、今後関係各部署の意見を聞くと同時に、他市の事例を十分研究しながら、効率的、弾力的な行政組織を構築していきたい。

**議員** 今までにグループ制導入について検討したことはあるのか。

**総合政策部長** 庁内で担当者が集まって協議したことはない。

**市長** 課単位でお互いに協力し力を合わせて、課に配分された事務

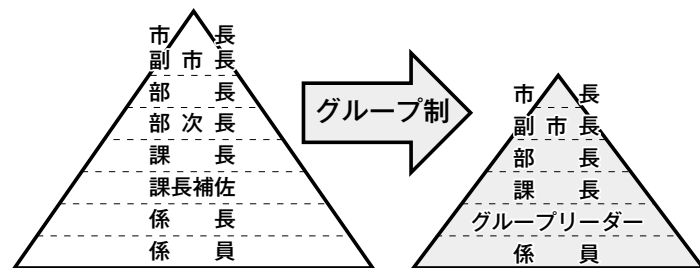
分掌を責任をもって果たしていこうという体制に心掛けている。

**議員** 職員の能力を有機的に組み合わせた柔軟で弾力性に富む組織としてグループ制の導入を一日も早く検討に入り導入されるよう提案したい。

**市長** 重く受け止めて十分協議する。

**議員** グループ制導入について、今から煮詰めて、例えば検討委員会を設置して真剣に考えていくということではいか。

**市長** 真剣に検討したい。



## 市民病院 現在地への建て替えは再検討を！

山田 伸幸 議員

**議員** 市民病院の建設場所について、病院局は現在地での建て替えとしているが、炭鉱の古洞があり、震災、高潮災害の可能性が高い地点である。市民病院は災害発生時に救護拠点とならなくてはならない。建設場所は地域防災計画を熟知した上で決定したのか。

**病院局事務部長** 東日本大震災により災害への対応が強く求められ、市民病院の建設に災害発生時の対応を心配する声があり内部で災害について検討した。

津波について南海地震で高さが約2m～3mとされており、基本構想では1m程度のかさ上げが必要であるとされた。病院建設の際には、敷地を標高2m以上にかさ上げすることを検討している。津波による浸水被害を生じても患者の生命が一番で、診療もできるよう、非常用発電機を2階以上に設置するなどの対策を予定している。

地震については、建築基準法に沿った耐震化を図る。古洞については地質調査を行い、その結果に基づき対応する。建物内では、機器や棚等の転倒防止等を図る。

ライフラインは幹線沿いで復旧も早く、現在地での建て替えが適切と考える。大規模災害を考えた場合、どこのものであってもそれぞれ一長一短がある。さまざまな要素を総合的に判断した結果、現地の建て替えでいけると判断している。



ボーリング工事中の市民病院駐車場

### 津波被害の想定は？

**議員** 厚陽小中学校の建て替えについて、文科省は沿岸部での学校建設は津波の被害を受けない場所を選ぶ方針を明らかにしたばかりだ。厚陽小中学校は津波被害の心配はないといえる場所か。また、災害に応じた避難誘導訓練や学習をしているのか。

**教育部長** 学校が実施している避難訓練は、主に地震、火災及び不審者侵入を想定したものである。避難訓練を通して災害時における冷静な判断と行動、避難経路の確認など学習している。これまでは地震と火災を想定したもので、沿岸部に立地する学校では津波を想定した訓練の実施が今後の課題である。

## 職員の能力を発揮させよう！

大井 淳一郎 議員

**議員** 職員提案制度の現状と対応についてどうか。

**総合政策部長** 平成17年度から21年度までに22件の応募があった。このうち3件が採用され、事務効率や市民サービスの向上に成果を上げている。採用されなかった提案も形を変えて実現させているケースもある。

**議員** 周南市のように実施状況を公開してはどうか。

**総合政策部長** 現在、職員の庁内LANで対応しているが、市民に対してオープンにしていない。研究して前向きに考えていきたい。

**議員** 提案が表彰された場合、人事評価の参考になるのか。

**総合政策部長** 優秀な提案は市長賞として表彰され、その旨を人事記録に登載することになっている。

### 災害時に役立つツイッター

**議員** 避難情報や安否確認などの緊急性の高い情報を発信する手段としてツイッターなどを活用してはどうか。

**総務部長** 有効活用すれば、災害時の情報をいち早く効果的に発信でき、市民の意見を聴取することも可能になるが、不正確な情報や記述が発信されてしまう側面もある。それぞれの特性を理解した上で、慎重に検討したい。

### まずは実態調査を

**議員** 買い物弱者の問題については、まずは実態を把握すること、そして知恵を出し合うことが必要。実態調査を実施し、「まちづくり市民会議」も開催してはどうか。

**副市長** 「お元気ですかコール」で市内の独居老人に電話する時には、買い物についても聞くようにし

ている。そのときは、それほど買い物に困っていない感触を得ている。

**議員** 「買い物は大丈夫ですか」と聞かれたら「大丈夫です」と言うのが、お年寄りの心情。やはり実態調査等をする必要があるのでは。

**市長** この種の問題についての「まちづくり市民会議」の具体的な構想はなかったが、やはり考える必要があるのかなという気持ちになった。いい方向にいくように少し時間をもらいたい。



移動店舗の様子

## 被災地とともに闘い続ける市でありたい！！

吉永 美子 議員

**議員** 市長に対し、被災地への長期的な支援を要請したが、職員を派遣している福島県いわき市の復興状況を本市のホームページに掲載してほしい。

**総務部長** できるだけ掲載したい。

### 安心・安全なまちづくりのために

**議員** 兵庫県西宮市が独自に開発した「被災者支援システム」導入の考えはどうか。

**健康福祉部長** 複数の課にまたがる部分もあるため、各課と協議する中で検討していきたい。

**議員** 小中学校の防災教育をどのように行っているか。

**教育部長** 学校教育活動全体を通して、学校の安全対策と安全教育の充実に努めている。

**議員** 独自の防災教育が功を奏しほぼ全員が無事に避難できた「釜石の奇跡」を子どもたちに伝えてほしい。

**議員** 視覚障害者支援を、策定

予定のバリアフリー基本構想にどう盛り込むか。

**総合政策部長** 構想の有無に限らず、取り組んでいかなければならない課題だ。

### 市民をがんから守る！

**議員** 低いがん検診受診率向上のため、市独自の目標を設定すべきではないか。

**健康福祉部長** 乳がんや子宮がん、大腸がんは受診率25%を目標に取り組む。

**議員** 50歳以上の胃がん検診に、胃がん発症要因のピロリ菌検査の追加を提案する。

**健康福祉部長** 国の動向を見ながら検討する。

### 定期借地権の活用を

**議員** 市有地や土地開発公社所有地に、定期借地権の活用を提案する。

**産業建設部長** 小野田・楠企業団地の場合は、早期完売に向け県と連携

しながら積極的なPRに努めている。

### エコな生活すすめます！

**議員** クールアース・デーを含むライトダウンキャンペーンへの企業や事業所、店舗の参加状況はどうか。

**市民生活部長** 今年は20団体に登録していただき、昨年より2団体増えた。

**議員** 「緑のカーテン」事業を市民に広げたい思いで提案してきたはずだ。

**環境課長** コンクールおよび表彰式が縮小されたことへの指摘については、期待に添えるような形を検討する。



なんとかしたい(小野田・楠企業団地)



## 中山間地域づくりの推進を

河崎 平男 議員

**議員** 本市の中山間地域づくりの指針が策定されているが、今後の取組や対象地域、旧山陽町の地域づくりの進捗状況についてはどうか。

**総合政策部長** 本市では、平成20年3月に中山間地域づくり指針を策定した。この指針は、上位計画の第一次山陽小野田市総合計画をもとに、中山間地域で培われた地域資源を活用し活力と魅力ある持続可能な中山間地域づくりについて地域と協働して進めていくことを目的に策定している。

**議員** 中山間地域づくりの施策の取組についてはどうか。

**総合政策部長** 農林水産省の中山間地域等直接支払いを活用し、農業生産の活動の活性化や耕作放棄地防止や農地水環境保全向上対策事業・防災体制の整備やADSL・高速インターネット通信の開通等に取り組んでいる。これからも地域の課題などについて研究し、引き続き中山間の支援に努めていく。

### 地域活性化室の役割は

**議員** 山陽総合事務所に地域活性化室があるが、どのような役割をしているのか。

**総合事務所長** この地域のまちづくりをどのようにしていくか、地域資源をどのように生かしていくか、人や文化をどう引き出していくかが役割だと考えている。

### 地域の実態調査は

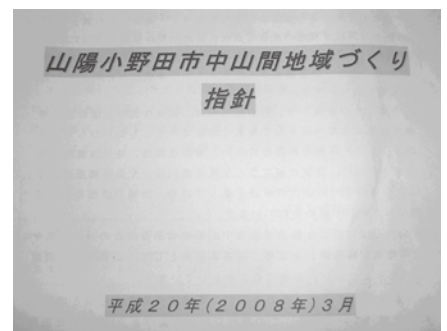
**議員** 中山間地域づくりは、農業分野だけではない。まちづくりの観点から実態調査をしているか。

**総合政策部長** 具体的には情報交換会を実施し、課題を庁議で検討している。

### 道の駅建設について

**議員** 「道の駅建設構想」はどのようなになったか。

**産業建設部長** 新市建設計画の中に「見る、触れる、さわる、感じる」というテーマで道の駅建設構想があったが、今後の課題として捉えている。



策定された指針

## 厚狭川の治水対策と内水排除

中村 博行 議員

**議員** 厚狭川関連の工事費については合計80億円と聞くが、市負担はなく、あるのは新橋の復旧、復興に関わる2億6000万円のうち8000万円だけでよいか。

**産業建設部長** 事業管轄の役割分担の中でそれぞれが工事や費用負担を行っている。

**議員** 厚狭川下流の堆積土の処理について進展はあるか。

**産業建設部長** 全体として27万6000㎡のうち、7万6000㎡は県のさら浜にもって行く予定で、現在渡場から下流左岸で工事中である。

**議員** 以前から指摘している狭間川、厚陽公民館横の水路、不動寺原、音丸川などの内水排除についての対策に前進はあるか。

**産業建設部長** 狭間川については河床の草刈、堆積土の除去が決定しているが、他の地域については浸水被害解消に向け努力をしていきたい。

**市長** 「狭間川防災の会」から対話の日の開催を求められており、事前に内部で十分協議したうえで、地元の話を知りたい。

### 若者の政治参加を

**議員** 投票率向上のため若者が集まるサンパークなどの商業施設に投票所を設置することは可能か。

**総務部長** 投票日当日はできないが、期日前投票所としては可能である。また効果も期待できると考えているので研究したい。

**議員** 20歳代を中心にした青年議会の開催や20歳から40歳までを対象とした政治・選挙に関するアンケートを実施してはどうか。

**総務部長** 選挙権をもつ若い世代の意識向上には有効だと思う。選挙管理委員会からは投票率アップのため、街宣や広報にさまざまな工夫を考えていると聞いている。

### ネット犯罪対策を

**議員** ネット犯罪から児童生徒を守るため、フィルタリングの推進など啓発や指導は十分か。

**教育長** 指針を作成し、学校・保護者に伝えており、今後も継続的に啓発を行っている。



厚陽公民館東側の埋もれた水路

## 「被爆体験集」の作成を

中島 好人 議員

**議員** 庁舎に昨年12月「非核平和宣言都市」の看板が設置されたが、戦争体験集作成はまだである。広島市は初めて被爆体験談や平和への思いを盛り込んだ平和宣言をしようとしている。このことは、高齢化ということもあるが、東日本を襲った、地震、津波、原発事故…広島市の市長もそこに思いをはせてのことと思う。旧小野田市も平成9年に「私の戦争体験記」を作成している。作成する考えはないか。

**市長** 戦争の悲惨さを後世に伝えていく手法はいろいろある。平和の尊さを訴える努力は、市全体で取り組んでいる。

### 学校給食は、 自校、親子方式の堅持を

**議員** 東日本大震災における避難所では、自校方式の学校給食が大きな役割を果たしている。また食育推進計画では「単独調理方式による

教育上の効果等について、周知、普及を図る」としている点からみても自校調理が優位と思うがどうか。

**教育長** 地産地消率引き上げのためには、中規模農家の育成や栽培契約を進める上で、センター方式が有利と考えている。夏に外部の人を入れた協議会を立ち上げ、各方面からの意見を集約しながら年内に最終方針を出す。

### 就学援助制度の充実を

**議員** 7人に1人の子どもが貧困状態に置かれている。家庭の経済的事情で教育の機会均等が損なわれてはならない。就学援助制度の充実が求められる。支給時期は、現行の7月、12月、3月の回数を増やすことや、入学時にお金がかかるので、7月の支払いではなく、入学準備金の仮払いをすることについてどうか。また、昨年度から、新たにクラブ活動費、生徒会費、PTA会費が盛り

込まれたが実施してはどうか。

**教育長** 入学時の支給となると、課税台帳作成前で、概算支給となり、場合によっては、返還も生じるので支給時期を早める予定はない。新たな項目については、他市の状況を見ながら考える。

**議員** 悪いことを想定すれば何も出来なくなる。ボーダー・ラインというところは、保留にして、確定できるところは実施したらどうか。現に実施している市もある。

**教育長** 事務的に2段階ということが可能ならば、検討する。



「非核平和宣言都市」の看板が設置された庁舎

## 土地開発公社の現状と課題は

石田 清廉 議員

**議員** 開発公社の存在意義は何か、土地保有状況は、さらに課題についてはどうか。

**総合政策部長** 市の依頼に基づき、事業に必要な土地を公社が先行取得し、事業を円滑に進めるため必要な制度である。住宅団地・企業団地の土地造成事業を行い企業誘致・定住人口の促進を図るなどを目的とし市の事業推進に一定の役割を果たしてきた。経済不況による事業の遅延等により小野田・楠企業団地や厚狭駅南地区等が保有土地として残った。

在の進捗状況は市の買い取り分が約4割と予定どおりではあるが、公社の民間への売却が困難である。

**議員** 市の買い戻しによる実質公債費比率への悪影響、また市の起債で公債費負担適正化計画に支障はないか、また分譲において適正価格で処分できるのか。

**総合政策部長** 実質公債費比率において単年度で0.21%～1.3%の影響があるが18%未満である。価格については帳簿価格での売却は困難である。

**議員** 公社の存続はどうなるのか。

**副市長** 公社の経営健全化が先決であり、将来的には解散の予定だ。

### 開発公社の健全化は

**議員** 土地開発公社経営健全化計画の概要と進捗状況はどうか。

**総合政策部長** 健全化計画に基づき平成24年度までに27億7200万円の保有土地を処分する予定だ。現

### 議会としても 積極的に取り組みたい

**議員** 企業誘致の問題について

は議会としても積極的に協力していきたいが、小野田・楠企業団地の具体的な計画はあるのか。

**市長** 企業誘致については商工会議所や東京理科大などとの協力で県内外へPRをしているが、大変厳しい状況である。

**議員** 開発公社の経営健全化、体質と構造の改善が重要だ。公社の尻拭いが市財政への負担にならないように、さらに市民への負担になるようなことは決して許されない。



土地開発公社分譲地





# 豪雨災害対策調査 特別委員会報告

昨年8月4日、市議会の要請に基づく臨時会で豪雨災害に関わる原因究明、被災者支援、今後の復旧及び長期的な防災対策並びに調査を行うことを目的として、豪雨災害対策調査特別委員会を設置しました。

委員会では被災者の意見、要望を聞くことが不可欠かつ最優先と考え、被災地区懇談会、豪雨災害被災者実態調査等を行いました。

- 被災地区懇談会（15回開催、参加者延べ168人）
- 豪雨災害被災者実態調査（平成22年8月16日～8月31日まで実施、242件）
- 現地視察 平成22年9月28日
  - (1) 美祢ダム 美祢ダムの構造、維持管理について  
美祢ダム放流での厚狭川越流との因果関係について
  - (2) 宇部土木事務所 7月15日の豪雨災害対策について
  - (3) 被災箇所 鴨庄浄水場、新橋、天満町、千町、常盤町、石鞆、鳥越等の視察。
- 調査研究 平成22年11月1日 山口大学工学部 三浦房紀教授  
7月15日豪雨災害の原因及び治水対策について
- 学校長と協議 平成22年11月4日 厚狭小、厚狭中、出合小  
災害時の児童生徒の登下校における学校側の対策と今後の改善策について
- 被災地区への中間報告会（5回開催、参加者延べ45人）
- 防災井戸の視察 平成23年5月19日  
千町二区自治会に完成した防災井戸の現地視察
- 豪雨災害最終報告書意見交換会（7回開催、参加者延べ129人）
- 豪雨災害最終報告書を市長へ提出（平成23年6月13日）
- 最終報告書に対する回答書（中間報告）（平成23年7月1日）



美祢ダムを調査



広瀬ガード下の通学路を調査



豪雨災害の原因について調査



最終報告書を提出

局地的な集中豪雨に伴う大規模な河川氾濫による被害は甚大で、市内の厚狭川、桜川、大正川、有帆川等の早急な治水対策の構築が強く望まれます。また、災害時には自助、共助、公助それぞれの役割を分担し、責任を自覚することが大切です。今回の災害の教訓を最大限生かす必要があり、そのためにもマニュアル等の再点検、ハザードマップの整備、自主防災組織の育成等について引き続き促進させなければなりません。今後とも国、県、近隣市、市内関係諸団体をはじめ、全ての防災関係機関が共通認識の上で、防災体制の整備を図り、市民の安心、安全基盤構築の強化に向けて議会はまだ不備な点も含め引き続き要望し、監視していきます。

最終報告書についてはホームページをご覧ください。

開かれた議会をめざして

# 広報広聴委員会が発足しました!

## これからの活動

### 議会だより

「読みたくなる議会だより」  
「わかりやすい議会だより」  
をめざし、スピーディーにお届けします。

議会だよりの  
ネーミング募集中!

### 議会報告会

議会の「説明責任」を果たすため、地域に出かけて行き、議会の報告をし、市民の皆さまの声を聞きます。

### ホームページ

議会の情報をできるだけ多く、わかりやすく、ホームページに掲載します。

### その他

市民の皆さまと積極的に情報交換をするため「出前講座」や「市民懇談会」などを企画します。



### 編集室より

議会に広報広聴委員会が発足しました。「読みやすい、わかりやすい議会だより」をめざし、議員目線ではなく市民目線で編集をしていきます。

リニューアルに向けて、皆さまからネーミングを募集します。楽しいアイデアをどうぞよろしくお願いいたします。



広報広聴委員会



委員長	河野 朋子	副委員長	下瀬 俊夫
委員	石田 清廉	委員	大井 淳一朗
委員	河崎 平男	委員	硯谷 篤史
委員	中村 博行	委員	山田 伸幸

## おいでませ山陽小野田企業誘致特別委員会

平成23年6月定例会において、おいでませ山陽小野田企業誘致特別委員会の設置についての議員提出議案が可決され、7月1日に設置されました。

本市の重要な地域活性化策として、市域内への企業誘致を促進するための委員会です。市民の皆さまからの情報もお待ちしています。

委員長	江本 郁夫	副委員長	高松 秀樹	委員	衛藤 弘光	委員	尾山 信義
委員	中島 好人	委員	平原 廉清	委員	松尾 数則		

皆さまのご意見をお寄せ下さい!

F A X 0836-82-1186

E-mail shigikai@city.sanyo-onoda.lg.jp